

認定看護師が増えました



がん性疼痛看護: 滝 ひとみ

がんと診断された時から治療されている時、そして終末期に至るまで、がんによって起こる症状の中から、おもにがんによる痛みを有する患者様に対し、その痛みの原因を考え、疼痛緩和に対しての治療(鎮静剤の使用方法や量や種類など)が正しく行われているのかを評価して、がんによる痛みを始めとしたさまざまな苦痛を取り除き、生活の質を高めていけるように活動しています。

緩和ケアチームの一人としても活動していますので、がんによる症状でお困りの方や、ご家族の方はがん相談支援センターやスタッフを通じてご相談いただければと思います。



がん化学療法看護: 降旗 みさと

がん化学療法(抗がん薬による治療)を受けられる患者様が、安全に苦痛や不安が少なく治療を受けられるように、抗がん薬の投与管理、副作用に対する説明・相談・ケアの実施などを担当しています。

がん化学療法を受けながら、日常生活を送られる患者様やご家族が、副作用による身体的苦痛・不安などの精神的苦痛・仕事への影響や高額医療費による社会的な苦痛などを出来る限り軽減し、生活の質をなるべく低下させることなく、治療を続けていけるようにお手伝いが出来ればと活動させて頂いています。

患者様とご家族にとって、身近な相談しやすい、存在になれるよう頑張りたいと思っていますので、気軽に声をかけて頂ければ嬉しいです。



集中ケア: 中嶋 諭

集中ケアに関する最新の知識と技術を基にケアを実践するエキスパートです。

生命危機状態にある患者さんやそのご家族の方に、集中ケア領域における専門的知識や技術を基にケアを実践していきたいと考えています。

集中ケア領域では侵襲の大きい手術後や原疾患の急性増悪、脳血管障害や心疾患、交通事故など突然重篤な状態になった患者さんなどが対象となります。このような生命の危機状態にある患者さんの病態変化を予測し、重篤化を回避するための援助を行います。また、そのような状態の患者さんやご家族の方が抱えているさまざまな問題を解決する手助けを行い、速やかに日常生活を取り戻すための援助を行っています。

病棟での看護実践とともに、院内外におけるコンサルテーションや教育活動を通して、院内外におけるコンサルテーションや教育活動を通して、患者さんのケアに関する普及活動を行っています。

